

ベトナムにおけるマカダミアナッツ栽培への出資傾向

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Duong Thuy Dung)

1. はじめに

2015年の年初から、ベトナムではマカダミアの栽培・販売が増加傾向である。メディアは、マカダミアを「何兆ドルもの価値がある野菜」と褒め讃え、農家の間ではマカダミアの栽培意欲が高まっている。また、消費者がスーパー等でマカダミアを贈答品として購入する姿は、よく目にされる光景である。ベトナムをマカダミア生産の世界的な中心地にしようという声も高まっている。マカダミアは今、最も注目されている農産物だと言っても過言ではない。

2. マカダミアの概念

マカダミア（学名：*Macadamia integrifolia*）の原産地はオーストラリアで、殻の中身（ナッツ）はマカダミアナッツと呼ばれる。マカダミアナッツはオレイン酸やパルミトレイン酸などの不飽和脂肪酸が83%を占め、健康食品と考えられている。生産量の90%はチョコレートやケーキ、クッキーなどのお菓子に使われる。



栽培方法は簡単で、適切な土地・季節を選べば順調に育てられる。現在、世界中で最も栽培されている国は、オーストラリア及びアメリカである。2013年時点で、世界のマカダミア生産量は135,000トンであった。しかし、マカダミアに対する需要が大きく、供給が追いついていないため、マカダミア生産・販売は潜在的な市場だと言われている。

3. ベトナムにおけるマカダミア栽培の現状

2000年頃、マカダミアはベトナムに持ち込まれた。現在、マカダミアの栽培面積は全国で約2,240平方メートルである。主に栽培されているのは中部高原のタイグエン（Tay Nguyen）及び北東地域である。特にタイグエン地域では約2,000平方メートルの栽培面積がある。

現在、スーパーマーケットのような近代的な店舗で販売されているマカダミアの標準価格(1キロあたり)は下記の通りである。 ※1米ドル=21,000ドン

		
硬い殻付き	殻が割れたもの	殻が剥かれたもの
30万~35万ドン	40万ドン	90万~100万ドン

マカダミアは1平方メートル当たり3トンを収穫でき、果実の加工状況によって価格は異なるが、加工前のマカダミアが1キロあたり73,500ドンで販売された場合、約2億ドンの売上を期待できる。価値が高いため、タイグエン及び北東地域以外でも、現在の仕事を辞め、マカダミア栽培を始めるケースが珍しくないほど個人の投資家が多くなっている。個人投資にとどまらず、2月7日にタイグエン地域で開催されたマカダミア発展戦略セミナーでは、5年間かけて栽培面積を25万平方メートルに拡大する計画が発表された。セミナーでは、マカダミア市場の大きさに比較し、競争国はまだ少ないという現状であり、ベトナムが早く手を打てば市場を独占できる、という考えが述べられた。また、ベ

トナム市場においてマカダミアの需要が上がり始めたが、国内市場だけでなく、海外市場にも輸出し、付加価値が高いマカダミアを栽培・販売することで経済的に困窮している農家の生活を向上させるのも目標であると発表された。

4. ベトナム産マカダミアの欠点

マカダミアに大きく期待する人が多い一方で、マカダミア栽培の成功に期待し過ぎているのではないだろうかという疑問の声もある。確かに現在、市場で販売されているマカダミアの価格は高いが、その価格は加工後のマカダミアをスーパーで販売する場合の価格である。しかし、農家はそれを把握せず、加工後の価格を実際の取引価格と誤解し、相場以上の価格で売ろうとする現実がある。従って、ベトナムで販売されているマカダミアの価格はオーストラリア、中国等で生産されるマカダミアより3倍くらい高い。例えば、殻付きマカダミアのベトナム国内価格は30万~35万ドン、14米ドル相当であるが、世界平均価格は約4米ドルである。また、ベトナム国内市場におけるベトナム産マカダミアは、ベトナムで販売されている中国産の安価なマカダミアとの激しい競争にさらされている。

価格はともかく、ベトナム産マカダミアの質は均一ではなく、栽培技術・地域の地質に大きく影響を受ける。ベトナムでは、タイグエン及び北東地域がマカダミア栽培に最も適切だと言われているが、当地域でも栽培できる場所とできない場所がある。タイグエン及び北東地域以外の地域でも栽培が試みられているが、期待されているほどの成果が出ていない。また、現時点で10種のマカダミアが試験栽培され、ベトナムの農業農村開発省はそれらの種の栽培を奨励している。しかし、残念ながら、農家が情報を十分把握せず、推奨されていない種類を植えてしまうことで質の悪いマカダミアを生産してしまうこともある。

価格は高いが、質が保証されていないという欠点のために、ベトナム産マカダミアが国内市場はともかく、海外市場に対して輸出できないのではないかと

専門家は懸念している。その状況を踏まえ、農業農村開発省は、2020年までは、栽培に成功している地域を対象に1万平方メートルまで農地を拡大し、栽培を行うとの目標を発表した。なお、ラムドン（Lam Dong）、クアンビン（Quang Binh）等の数地域でマカダミア栽培を試みることは否定している。

5. おわりに

ベトナム産マカダミアは今まで沢山植えられてきたが、無計画な栽培も行われているため、現状のままでは失敗したゴムノキやサトウキビのようになってしまう。そのようにならないよう、政府のアドバイスだけでなく、種類・価格等の問題を管理する専門協会の設立や、技術移転を行う技術者・専門家が必要ではないかと考えられる。

【参考と引用文献】

1. <http://en.wikipedia.org/wiki/Macadamia>
(マカダミアの概念)
2. <http://kinhdoanh.vnexpress.net/photo/hang-hoa/nhung-vuon-cay-ty-do-tren-dat-tay-nguyen-3181055.html>
(タイグエンでのマカダミアの栽培状況)
3. <http://kinhdoanh.vnexpress.net/tin-tuc/hang-hoa/bo-nong-nghiep-chi-muon-trong-thu-nghiem-10-000-ha-mac-ca-3178827.html>
(農業農村開発省がマカダミア栽培を1万平方メートルで試すと発表)
4. <http://baodatviet.vn/khoa-hoc/quan-diem/cap-tap-mo-rong-cay-mac-ca-nhieu-lac-quan-qua-da-3235522/>
(マカダミア栽培に対する成功を期待しすぎる)
5. <http://baodatviet.vn/kinh-te/doanh-nghiep/cap-tap-trong-cay-mac-cabai-toan-kinh-te-chua-minh-bach-3234994/>
(マカダミア栽培に不明な経済問題)
6. <http://kinhdoanh.vnexpress.net/tin-tuc/hang-hoa/loan-gia-hat-mac-ca-3179734.html>
(マカダミア価格の不統一)